

令和7年度第1回 川崎市 PPP プラットフォームセミナー意見交換会実施結果

事業名	かわさき福寿手帳の見直しと新たな高齢者外出支援施策
事業所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課
意見交換会実施日	5月28日、5月29日
意見交換会参加事業者数	8社
意見交換会での主な民間意見	<p>聴取事項1</p> <p>【高齢者の外出を促進するための効果的な事業スキームやアイデアについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用（外出支援）の入口としてはポイントや特典等のインセンティブがあることで利用率が高まる。 ・地域貢献の要素があると利用してもらいやすい。 ・外出の動機付けとしては、年齢や趣味等により異なるので、多様なフック（仕掛け）が必要。 ・出歩く機会（ボランティアやスタンプラリー等）を提供することが必要。 ・地域内でのつながりづくりや世代間交流も外出促進のために必要な要素。 ・新規事業を利用させていただくためには、ポイントやランキングの導入など、様々な団体と協力し、巻き込んでいくことが重要。 ・高齢者の興味・関心が高い分野と絡めて事業展開した方がよい。一度川崎市の傾向を掴むために、調査するのもよい。 ・外出促進を優先するのであれば、特典（外出先）については、市内のみならず市外も範囲に入れるなど、広い範囲で検討する必要がある。 ・外出促進を優先するのであれば、アナログ（紙のカード等）、効果測定を優先させるのであれば、デジタル（アプリ等）が有効。 ・人が自然と集まれるようなイベントと継続させるための仕組みづくりが重要。 <p>聴取事項2</p> <p>【事業の効果測定の方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙・QRコードを活用したアンケートの実施。 ・フレイルチェックを事業の実施前後に行う。 ・効果測定の方法例として、協賛店へのアンケートが考えられるが、オペレーション面での課題もあり、実施が困難、もしくは正確なデータが取れない可能性がある。 ・アナログ（紙のカード等）かデジタル（アプリ等）かでいえば、デジタルの方が効果測定はしやすい。 ・アナログとデジタルの両輪での事業展開も検討し、効果測定はデジタル利用者の方で行うということも考えられる。 ・既存のイベントや事業とも連携しつつ、運動＋測定を組み合わせることで効果測定が可能。 <p>聴取事項3</p> <p>【効率的な利用者データ収集の方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリであれば利用者アンケートの実施や利用データを簡単に収集可能。 ・スマートフォンによるQRコードの読み取りやGPSを活用したチェックイン機能によるデータ収集。 ・利用者の負担を踏まえ、データ収集の際は基本情報をどこまで取得するかを検討する必要がある。 ・電子媒体（電子クーポン等）であれば、様々なデータを収集可能。

	<p>聴取事項 4</p> <p>【高齢者の制度周知等に関する効果的な情報発信方法やアイデアについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体の冊子に加え、電子書籍版の配布を行う。 ・冊子に広告を載せることで公費負担が少なくなり、浮いたコストを他の事業に活用することが可能。 ・情報がアップデートされない課題について、アプリであれば、随時アップデート可能なので紙媒体よりもアプリの方が利便性は高い。 ・最近では、高齢者の方自身で、スマートフォン等を活用して、様々な情報を集められる方が多くなっている印象があるので、その点も考慮する必要がある。 ・アプリであればリマインド機能（プッシュ通知）の活用が可能で効果的。 ・コストはかかるが、DMを送ることが効果的。 <p>聴取事項 5</p> <p>【その他自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状のかわさき福寿手帳については、高齢者の方向けにもう少し入れられる情報がある。 ・高齢者にとって、利便性の面で言えばカードの方が高い。 ・事業の目的がユーザーを増やすことなのか、高齢者向けに特化するのかにより見直しの方向性が異なる。 ・導入時点でアプリとカードを併用していくのは難しい。 ・新たな事業を実施する場合、関連イベント等に何かしらの方法で協力することは可能。 ・効果測定について、効果を調べるための費用が大きく、もったいない。 ・アプリが乱立するという課題については、市役所内にあるアプリを取りまとめてポータルアプリ化できるとよい。 ・新事業の検討にあたっては、ゼロベースで事業を構築するのではなく、多様な主体の強みを生かしながら構築していく方がよい。 ・比較的若い高齢者の方をターゲットにするのであれば、スマホを使った施策でもよい。
<p>現在の事業の進捗状況（意見交換会での意見等を踏まえた、現在の進捗状況）</p>	<p>見直し手法等について、いただいたご意見をもとに、手法別のメリット・デメリット・懸念点等の整理を行い、効果的な施策となるよう、引き続き、検討を進めています。</p>
<p>今後のスケジュール等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度中 見直し手法の検討 ・令和8年度中 見直し実施に向けた準備期間 ・令和9年度中 見直し実施

※いただいた意見については、参加者の承諾を得られたもののみを公表しています

<p style="text-align: right;">【問合せ先】</p> <p style="text-align: right;">健康福祉局長寿社会部高齢者在宅サービス課</p> <p style="text-align: right;">担 当 菅原・永石</p> <p style="text-align: right;">電 話 044-200-2638</p> <p style="text-align: right;">メー ル 40zaitak@city.kawasaki.jp</p>
--